

《履修上の留意事項》「発達心理学」は、 に分かれ、 では「子どもの心理」の成り立ち・変化について、 では「青年・成人の心理」の成り立ち・変化について学習する。 ・ を合わせた人生の全体的理解が期待される。

《担当者名》金山 裕望 (kaneyama@hoku-i-ryo-u.ac.jp)

【概要】

この科目は、時間経過に伴う人間の発達過程と、そのプロセスで起こる様々な問題について学ぶ科目である。

【学修目標】

- 認知機能の発達及び感情・社会性の発達について説明できる。
- 自己と他者の関係のあり方と心理的発達について説明できる。
- 誕生から死に至るまで生涯における心身の発達及び各発達段階での特徴について説明できる。
- 発達障害等非定型発達について基礎的な事項や考え方を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	発達心理学の概要およびライフサイクル理論について理解する。	金山 裕望
2	発達の生物学的基礎	発達をもたらす要因や行動遺伝学、エピジェネティクスについて理解する。	金山 裕望
3	身体の発達	身体運動機能の発達について理解する。	金山 裕望
4	認知の発達	乳児から児童期にかけての認知発達やその研究手法（例：選好注視法）を理解する。	金山 裕望
5	認知の発達	青年期以降の認知発達を理解する。	金山 裕望
6	アタッチメントの発達	アタッチメントの発達を理解する	金山 裕望
7	道徳性の発達	道徳性の発達について理解する。	金山 裕望
8	言葉と思考をめぐる発達	言葉や思考の発達について理解する。	金山 裕望
9	社会性の発達	社会性の発達について理解する。	金山 裕望
10	遊びと対人関係の発達	遊びと対人関係の意義や遊びの発達、対人関係の発達について理解する。	金山 裕望
11	児童期の発達と諸問題	児童期の発達の概要と生じやすい問題について理解する。	金山 裕望
12	非定型発達	神経発達障害群の概要と、限局性学習症、発達性運動協調症、知的能力障害、アタッチメント障害について理解する。	金山 裕望
13	非定型発達	自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症について理解する。	金山 裕望
14	非定型発達に対する支援	非定型発達児に多く適用される応用行動分析の概要を理解する。	金山 裕望
15	非定型発達に対する支援	非定型発達児に多く適用される支援の実際を理解する。	金山 裕望

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義内課題20%，定期試験80%

【参考書】

公認心理師スタンダードテキストシリーズ12 発達心理学 林創編著 ミネルヴァ書房

【備考】

適宜資料を配布する。

【学修の準備】

参考資料等を読んで、毎回の関連する話題について理解しておくこと（80分）。

授業終了後、配布資料を見直して復習しておくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用】

Google Form を活用し、講義内課題への回答を通して学生の理解度を把握する

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての現場での臨床経験を反映させた講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している